

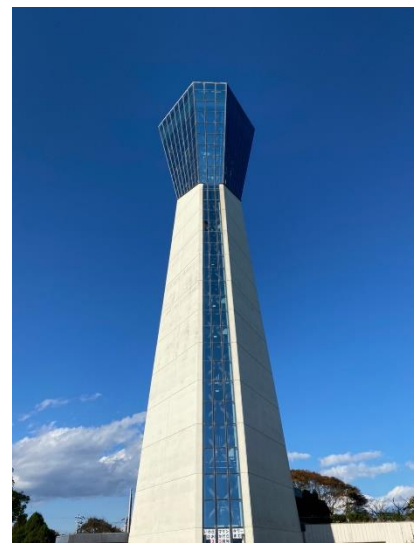


# 環境経営レポート

令和3年度版

活動期間:【令和3年10月1日～令和4年9月30日】

令和4年11月11日作成 / 同年11月16日発行



いわきマリンタワー

## 福島県いわき市小名浜 「いわきマリンタワーから見た海」

いわきマリンタワーは、小名浜港東端の岬、海上46mの台地に広がる三崎公園の一角にそびえ立つ塔屋59.99mの展望塔で、この写真は海拔106mの展望室のさらに屋上のスカイデッキから撮影したものです。

昭和61年8月の開設から、今年はちょうど35周年になります。



陽光社印刷株式会社

本社 / 福島市南矢野目字萩ノ目裏1-1 TEL024-553-4600(代) FAX024-554-4420  
http://www.yokosha.co.jp E-mail: info@yokosha.co.jp

## 目 次

1. 新たなる創造の翼.....	1
2. 製品紹介.....	2
3. ドローンによる空撮.....	3
4. 陽光社印刷株式会社 公式キャラクター“ようちゃん”.....	4
5. 事業活動の内容.....	5
6. エコアクション 21 環境経営理念と方針.....	6
7. エコアクション21組織図.....	7
8. 環境経営目標(令和 2 年度).....	8
(1) 中・長期目標.....	9

9. 環境経営計画の取組と結果.....	10
① 電力使用量の削減.....	10
② 水道使用量の削減.....	11
③ 営業車燃費向上.....	12
④ 事務用紙リユースの推進.....	13
⑤ ペーパーレス化推進.....	14
⑥ 化学物質削減・照明 LED 化・POD 受注推進 など.....	15

10. 令和 2 年度の実績と前年対比.....	16
11. 5 年間の実績推移.....	17
(1) 二酸化炭素排出量・電気使用量 .....	18
(2)水道・LP ガス使用量・ガソリン・軽油使用量.....	19
(3)廃棄物排出量 .....	20
(4)廃棄物再資源化量・再資源化率.....	21
(5)化学物質使用量・事務用紙購入量 .....	22
13. EA21 システムの見直し .....	25
14. 次年度の環境経営目標と計画(令和 3 年度).....	26

## 1. 新たなる創造の翼

# あらたなる創造への翼

### 企業理念 <New Qualityの世界へ>

弊社は、昭和 25 年に創業して以来、“美しい印刷を通して地域に貢献し  
存在意義の大きな会社になりたい”ということをモットーに日々研鑽を重ね

皆様のお役に立てるよう努力をして参りました。

この間、社会はめまぐるしく激変し、さまざまな技術の飛躍的な進歩に加え

コンピューターの急激な普及による情報のデジタル化により

社会全体のシステムが大きく変化して参りました。

弊社もまた、時代の流れに先んずるべく、最新鋭のデジタル機器や印刷機を完備し

その目標を全うするため最善の環境を整えてきた次第であります。

しかしながら現在、快適さや利便性を追求してきたこれまでの価値観が少しずつ形を変えつつあります。

そこで弊社は、次代へのキーワードとして<New Qualityの世界へ>という

アイデンティティ・コンセプトを掲げています。

これは、柔軟な発想と探求心から生まれる『あらたな品質の創造』を意味するキーワードであります。

ここでいう品質とは、単なる物理的な品質のみをいうのではなく

生産に携わっている人の技術・能力などの人的なクオリティ

それに生産設備やシステムなどの生産環境におけるクオリティを三位一体化して

それを新しい品質と位置づけ、常に一歩上の品質を追求しようという考え方です。

この<New Qualityの世界へ>という次なるステップを胸に、未来への希望を抱き、

これまで以上の研鑽を重ね、全社一丸となって邁進していく所存です。

今後とも皆様の一層のご支援とご厚情をお願い申し上げます。

代表取締役 村山 広一



## 2. 製品紹介

# 製品 紹介

Offset printing

1枚の紙が  
美しい印刷物として生まれ変わる

ポスター、カレンダー、パンフレット、チラシなどの商業印刷  
会社案内、学校案内、事務用印刷。 etc...



多品種を高品質なフルカラーで再現  
小ロット・短納期に対応

販促ノベルティ・CD、DVDの企画制作

記念誌・自費出版





### 3. ドローンによる空撮

4K空撮

# ドローン、始めました!!

陽光社では、ドローンによる空撮を承っております。  
 季節毎や記念日等に、残しておきたい風景やお世話になった方々を  
 『4K動画』や『高精細写真』で、カタチに残せます。  
 ご要望の際はお気軽にお声かけください。  
 —— 空からの新しい感動を是非!



ドローン動画を  
QRからチェック!  
YouTubeに飛びます!  
※高精細動画ではありません。



花見山



七ヶ宿ダム  
自然休養公園

当社は、東京航空局  
「無人航空機の飛行に  
係る許可・承認」を  
得ています。  
東空運第 840 号  
東空検第 374 号



三ノ倉菜の花畑



桜 峠



奇跡の一本松



夏井千本桜



New Qualityの世界へ  
**YOKOSHA** 陽光社印刷株式会社  
 代表取締役 村山 広一

本 社 / 福島市南矢野目字萩 / 目裏1-1 TEL024-553-4600(R) FAX024-554-4420  
 東京連絡所 / TEL03-3352-7873 郡山連絡所 / TEL024-984-3254  
 E-mail / info@yokosha.co.jp http://www.yokosha.co.jp

エコアクション21 認証番号0000015(福島県認証第1号) / プライバシーマーク 認定番号10190130(07)

基本料金	動画編集
①静止画撮影 40,000円~	3分まで 10,000円~
②動画撮影 60,000円~	10分まで 30,000円~
{ドローン本体 / PHANTOM4}	20分まで 50,000円~
{1フライト15分以内}	※以降、要相談
※その他経費等、詳細は担当営業へお問い合わせください。▶▶▶	



担当

4. 陽光社印刷株式会社 公式キャラクター“ようちゃん”

陽光社のキャラクター  
“**ようちゃん**”です。

額には陽光社の  
ロゴ「Y」を掲げて  
いるんだよ。

額のYの中心に  
あるハートは  
地域密着の心  
なんだ!

紙マントがあるから  
どこにだって  
校正を届けに  
飛んで行けるよ!

CMYK変身ベルトで  
どんな色の印刷物  
だって作れるんだ!



**YOKOSHA**  
New Qualityの世界へ  
陽光社印刷株式会社



## 5. 事業活動の内容

(1) 事業者名及び代表者名

陽光社印刷株式会社  
代表取締役 村山 広一

(2) 所在地

〒960-0112 福島県福島市南矢野目字萩ノ目裏1番1号

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 印刷製本部課長 佐藤 清志  
連絡先 総務部主任 柳澤万里枝  
その他環境管理責任者数名、別紙記載

(4) 事業の内容

一般印刷、企画提案、デザイン、デジタルコンテンツ制作  
ドローン空撮・動画編集・制作業務

(5) 事業の規模

従業員数 51人  
延床面積(建物)2,800㎡

(6) 対象範囲

全事業所の全事業内容

(7) 事業年度

令和3年度

(令和3年10月1日～令和4年9月30日)



## 6. エコアクション 21 環境経営理念と方針

### 環境経営理念

当社は地球環境保護に対する責任を厳粛に受け止め、企業経営と環境保護活動の調和を図り、環境保護・地球温暖化への対策を講じ、さまざまな資源の有効利用に継続的に取り組む事によりよりよい社会の実現に努めます。

### 環境経営方針

紙などを扱う印刷会社という性質上、環境負荷の大きな産業であることを自覚したうえで、国際的な環境保護活動と連動し、自社の事業経営の中に環境への取組みを位置付けることで、自社の継続的な成長とともに環境負荷の低減を実現します。

### 【行動指針】

1. 経営における課題とチャンスをつまみ、省資源・省エネ化の段階的実現を推進します。
2. 自らの事業活動を踏まえ、環境への取組みにおいて最重要分野について整理して、全社員で考慮し有効な施策の実践を目指します。
  - 印刷副産物の発生抑制とリサイクルの推進
  - 環境に配慮したグリーン購入を積極的に行う
3. 環境の保全・向上活動を推進するため、エコアクション 21 のガイドラインに沿った仕組み・取組みを実践し、継続的改善を行います。
4. 適用される環境関連法規・条例等を定期的にチェックし、遵守します。
5. 業務で使用する化学物質について、使用量の削減・より安全なものへの転向を推進します。
6. 環境経営方針を全従業員へ周知徹底し、また当社ホームページに掲載し広く一般に公開します。

2018年10月1日 陽光社印刷株式会社

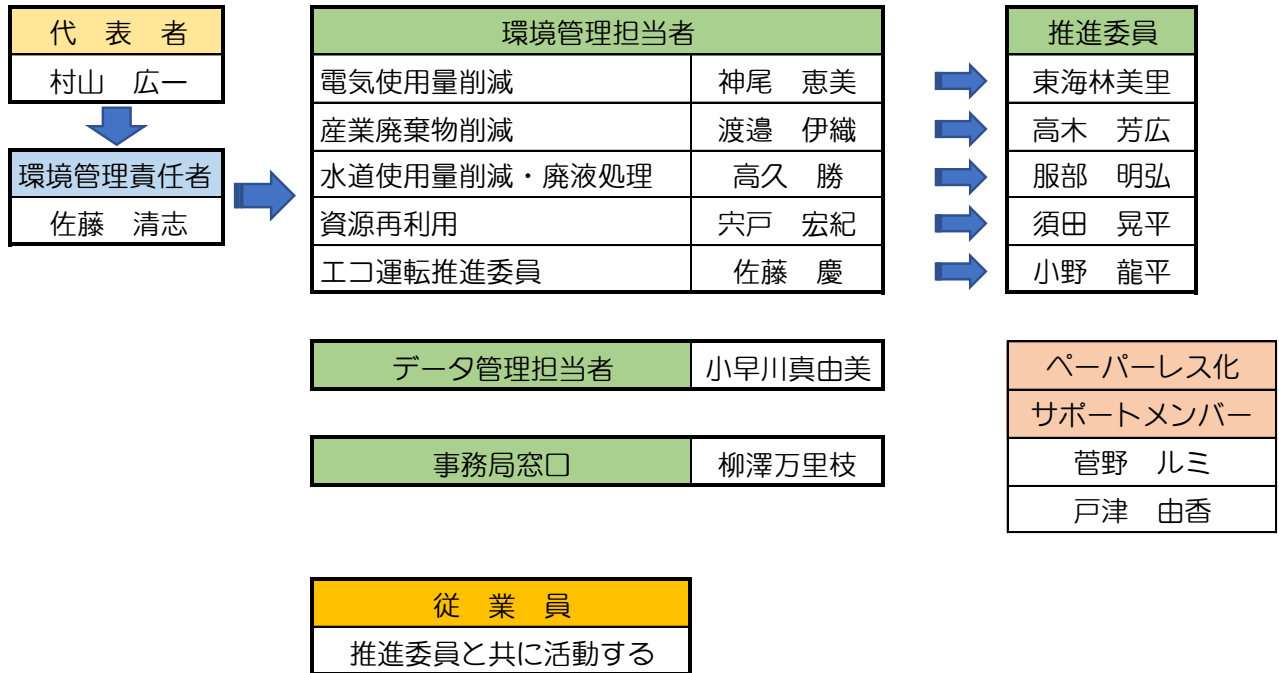
代表取締役 村山 広一

## 7. エコアクション21組織図

### 令和4年度 EA21推進委員会 組織図

策定：2022年9月30日 村山 広一

活動期間：2022年10月1日～2023年9月30日



代 表 者	環境経営方針・目標・計画の策定、実施体制の構築・推進委員の選任 緊急時対応・経営資材の準備・全体的な評価・見直しと指示
環境管理責任者	EA21システムの運用・代表取締役への報告、文書類の管理 環境関連法規の取りまとめと遵守・EA21審査の受審・更新
環境管理担当者	代表者・環境管理責任者からの指示どおり計画を推進する 環境経営計画書の管理、問題発生時の対応・是正など
推進委員 サポートメンバー	環境管理担当者からの指示に従業員に伝達する 環境経営計画書に進捗・状況を記録する
総務部データ管理	各種データ及び帳簿等の記録・管理・保管
従 業 員	環境経営目標を達成するために全員参加で活動する

## 8. 環境経営目標(令和2年度)



### 環境経営目標

令和3年度(2021年10月1日～2022年9月30日)

陽光社印刷株式会社は、エコアクション21の環境経営方針に定めた環境保全への取組を実現するため環境マネジメントプログラムに以下の項目と目標を掲げて活動していきます。

#### ● 取組項目

#### ● 目標と活動



#### ①省エネルギー・環境保全

- 電力使用量削減(年間404,500kWh以内)
- 二酸化炭素排出量削減(171,508kg-Co2以内)  
※九電みらいエナジー(株)H29年度調整後排出係数0.424kg-Co2
- 水道使用量削減(年間570㎡以内)
- ガソリン使用量削減に向けた燃費向上(年間平均15.65km/l以上)

#### ②省資源・資源再利用

- 廃棄物分別の徹底と排出量削減(年間98.5t以内)
- 廃棄物再資源化率の向上(事務用紙リユース率54%以上)
- 社内文書の電子化・ペーパーレス化推進  
(事務用紙使用枚数140,750枚以内)
- 化学物質使用量の削減及び、より低リスク製品への代替  
(使用量5%削減)

#### ③エコ資材・設備への移行

- 社内照明LED化、ハイブリッド車両の順次導入など(随時)

#### ④自社製品の環境配慮

- オンデマンド製品の提供拡大(前年度対0.1%増加)

作成日:2021年10月1日 策定者:村山 広一

### 環境経営計画

スケジュール:令和3年10月1日～令和4年9月30日までの取組

○ 電力使用量の削減	こまめな電源オフ・エコ意識の啓蒙など(年間408,750kWh以内)
○ 水道使用量の削減	節水意識の啓蒙・清掃時の節水など(年間574㎡以内)
○ 営業車燃費向上	エコ運転の推進など(年間平均15.6km/l以上)
○ 事務用紙リユースの推進	余白紙の再利用推進など(事務用紙リユース率52%以上)
○ ペーパーレス化推進	文書の電子化推進など(事務用紙使用枚数140,850枚以内)
○ 化学物質使用量削減・代替	新しい品目の発掘・代替が行われたか?(前年度対比較による評価)
○ 照明LED化・車両入替	照明のLED化の進捗と車両入替の有無(前年度対比較による評価)
○ POD受注拡大	POD製品受注件数の推移(前年度対比較による評価)

作成日:2021年10月1日 策定者:村山 広一

## (1) 中・長期目標

### 中・長期目標 (R2~R6)



項目	単位	R2年度目標	R3年度目標	R4年度目標	R5年度目標	R6年度目標
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
<b>二酸化炭素排出量の削減</b>		※電力のCO2排出係数は0.424 kg-/kWh(九電みらいエナジー株式会社・平成30年実績)で計算				
二酸化炭素排出量(総排出量)	kg-Co2	226,425.4	224,166.5	221,907.3	218,648.0	217,404.9
二酸化炭素排出量(電力のみ)	kg-Co2	173,310.0	171,508.0	169,706.0	167,904.0	166,102.0
電力購入量	kWh	408,750.0	404,500.0	400,250.0	396,000.0	391,750.0
業務用自動車の燃料量(ガソリン)	ℓ	18,620.0	18,430.0	18,240.0	18,050.0	17,860.0
業務用自動車の燃料量(軽油)	ℓ	500.0	495.0	490.0	485.0	480.0
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	131.9	131.0	130.0	129.5	129.0
営業車の燃費(年間平均)	km/ℓ	15.60	15.65	15.70	15.75	15.80
<b>廃棄物排出量の削減</b>						
一般廃棄物排出量	t	99.0	98.5	98.0	97.5	97.0
産業廃棄物排出量	t	10.0	9.9	9.8	9.7	9.6
<b>廃棄物再資源化の推進</b>						
産業廃棄物の再使用量・再利用率	t	5	5	5	5	5
産業廃棄物の再資源化率	%	5	5	5	5	5
<b>消耗品再利用の推進</b>						
事務用紙のリユース率	%	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
梱包用紙(ワンプ)の再利用率	%	50.0	50.5	51.0	51.5	52.0
<b>ペーパーレス化推進</b>						
事務用紙出力枚数	枚	140,850	140,750	140,650	140,550	140,450
<b>総排水量削減</b>						
水道使用量	m <sup>3</sup>	574.0	570.0	566.0	562.0	558.0
<b>化学物質使用量削減</b>						
PRTR関連溶剤使用量	kg	0.01				0
<b>自社製品・サービスの環境配慮</b>						
デジタル印刷システム		○小ロット印刷物を中心にPOD受注の拡大を図り、印刷時副産物の発生を減らす				
校正のペーパーレス化		○電子文書を利用したペーパーレス校正システムの普及推進(顧客への推奨)				
照明のLED化		○LED照明に入れ替える事で電気使用量と廃棄物を減らし、電気料金支出を削減する				
ハイブリッド車などのエコカー導入		○ガソリン・軽油の使用量を減らし、給油回数減による営業活動の効率アップを目指す				

令和元年10月10日策定  
 令和2年10月1日改訂  
 令和2年10月23日改訂  
 令和2年11月18日改訂  
 策定・改訂:代表取締役 村山 広一



## 9. 環境経営計画の取組と結果

### ① 電力使用量の削減

環境経営計画書 令和3年度

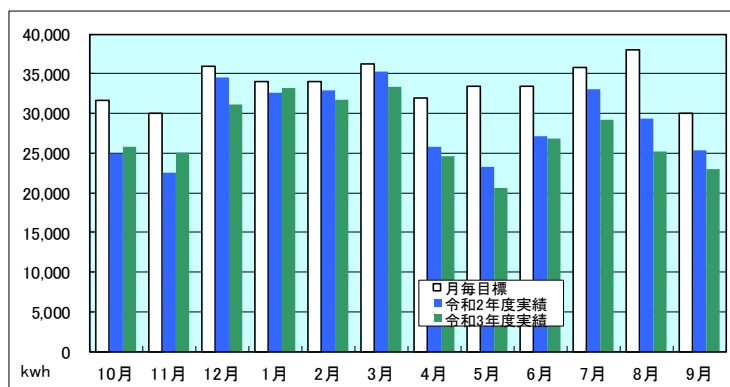
	月毎目標	令和2年度実績	令和3年度実績
10月	31,700	24,955	25,842
11月	30,000	22,537	25,097
12月	36,000	34,480	31,087
1月	34,000	32,650	33,210
2月	34,000	32,943	31,713
3月	36,250	35,310	33,400
4月	32,000	25,826	24,576
5月	33,400	23,204	20,623
6月	33,400	27,150	26,754
7月	35,750	32,981	29,141
8月	38,000	29,388	25,162
9月	30,000	25,354	22,955
合計	404,500	346,778	329,560

目標値累計と今年度のその月の消費量を入力して下さい。			
累計	年間目標累計	今年度累計	対目標比
12	404,500	329,560	81%
単月	前年度	今年度	対前年比
12	25,354	22,955	91%

実施担当者：齋藤 幸子  
実施責任者：柳澤万里枝

策定：2021年9月28日 村山 広一

電力使用量の削減／目標 404,500kWh以内



電気事業者：九電みらいエナジー(株) H30年度co2排出係数 0.424(kg-co2/kWh)

#### 施策

- 必要の無い場所、時間の消灯。
- エアコンの温度設定とON/OFFを室温を見てこまめに調整。
- エアコンとLED照明の新調検討。(今期中に計画を策定・段階的に移行)

スケジュール：2021年10月1日から2022年9月30日まで

電力使用量削減の取組結果は、目標に対して29%減、前年度に対して5%減でした。

前年同様、新型コロナの影響で社員が休む機会が多くあり、制作課ではリモート勤務もあり、今期もさらに削減となりました。

## ② 水道使用量の削減

環境経営計画書 令和3年度

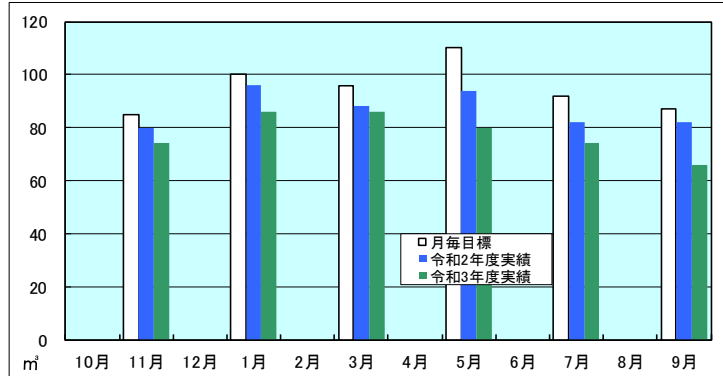
	月毎目標	令和2年度実績	令和3年度実績
10月			
11月	85	80	74
12月			
1月	100	96	86
2月			
3月	96	88	86
4月			
5月	110	94	80
6月			
7月	92	82	74
8月			
9月	87	82	66
合計	570	522	466

目標累計と今年度のその月の消費量を入力して下さい。			
累計	年間目標累計	今年度累計	対目標比
6	570	466	82%
単月	前年度	今年度	対前年比
6	82	66	80%

実施担当者：渡邊 伊織  
実施責任者：秋葉 真一

策定：2021年9月28日 村山 広一

### 水道使用量の削減／目標 570m<sup>3</sup>以内



#### 施策

- ・節水意識を向上するための啓蒙活動
- ・手洗い・清掃時の水使用の仕方を見直し、随時周知

スケジュール：2021年10月1日から2022年9月30日まで

節水意識を高めるための啓発掲示物を水道がある場所に貼って、節水を呼び掛けています。

インフルエンザや新型コロナの感染防止のため、手洗いを徹底していますが使用量は減っています。

休業要請やリモートワークで出勤機会が減ったため顕著に減少していますが、パンデミック時期だけの特殊な実績と捉えています。

### ③ 営業車燃費向上

環境経営計画書 令和3年度

Km/ℓ

	月毎目標	令和2年度実績	令和3年度実績
10月	16.65km/ℓ	15.80km/ℓ	15.85km/ℓ
11月	16.05km/ℓ	16.13km/ℓ	16.53km/ℓ
12月	15.60km/ℓ	16.34km/ℓ	16.77km/ℓ
1月	15.70km/ℓ	15.22km/ℓ	16.56km/ℓ
2月	14.80km/ℓ	15.99km/ℓ	16.80km/ℓ
3月	15.20km/ℓ	15.74km/ℓ	16.19km/ℓ
4月	16.00km/ℓ	16.37km/ℓ	16.46km/ℓ
5月	15.90km/ℓ	16.49km/ℓ	16.32km/ℓ
6月	15.80km/ℓ	15.74km/ℓ	15.48km/ℓ
7月	15.60km/ℓ	15.05km/ℓ	15.76km/ℓ
8月	14.90km/ℓ	14.87km/ℓ	15.78km/ℓ
9月	15.55km/ℓ	15.60km/ℓ	15.78km/ℓ
平均	15.65km/ℓ	15.78km/ℓ	16.19km/ℓ

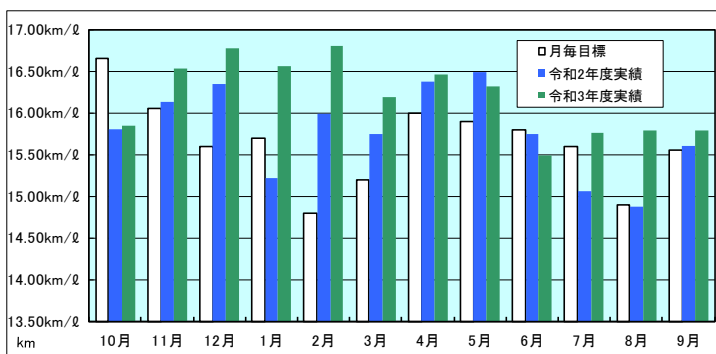
前年度及び今年度のその月の消費量を入力して下さい。			
単月	前年度	今年度	対前年(+/-)
	15.60km/ℓ	15.78km/ℓ	0.18km/ℓ

実施担当者：高橋 憲人  
実施責任者：伊東 篤

	月ごとの給油タイミング(回数)		
	1日～10日の間	11日～20日の間	21日～月末の間
10月	7	11	12
11月	10	11	14
12月	13	10	14
1月	5	14	11
2月	10	10	10
3月	15	7	16
4月	10	11	14
5月	8	12	11
6月	11	10	16
7月	12	12	16
8月	14	9	12
9月	9	9	25
	124	126	171

策定：2021年9月28日 村山 広一

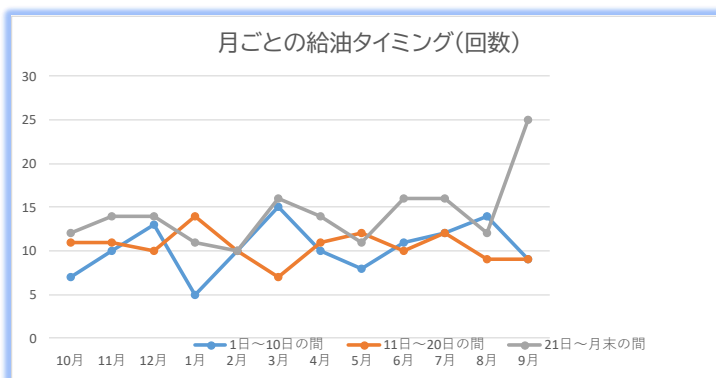
### 営業車燃費向上／年間平均燃費 15.65km以上



**施策**

- ・エコ運転推進(急発進・急加速・急ブレーキをしない)
- ・アイドリングストップの実施とアクセルむらのない運転の推進
- ・エコ車両の段階的導入の検討(今期中に五役会議で再協議)
- ・効率の良いスケジュールによる営業活動

スケジュール：2021年10月1日から2022年9月30日まで



営業車の燃費向上の取組は、「急」のつかない運転をする・エアコンを過度に使用しない、など何年もやっている大きな向上は見込めなくなってきました。

まして車両が古くなってきていますので、燃費が悪くなりがちになってしまいます。

営業車の買い替えは、経営計画で努力目標のような形で毎年考えられていますが、それよりも優先度が高い設備投資(壊れたエアコン・照明のLED化など)が先行する為、なかなかエコカーの導入は出来ていません。

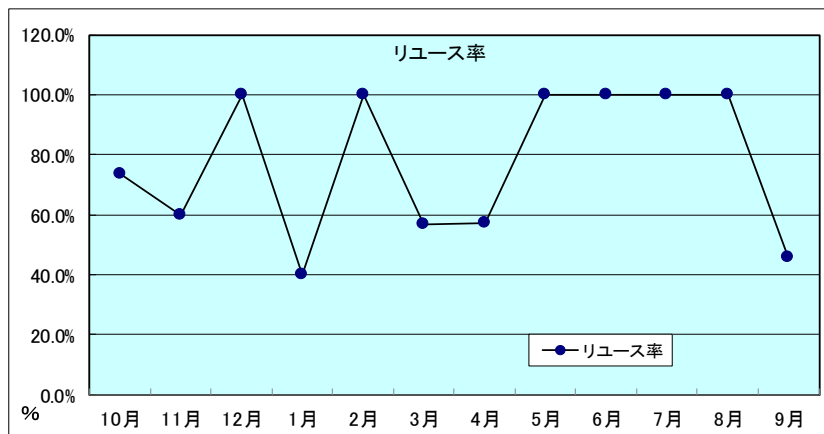
#### ④ 事務用紙リユースの推進

	購入量	リユース量	リユース率
10月	23.0	63.5	73.4%
11月	46.0	68.0	59.6%
12月	0.0	48.0	100.0%
1月	52.9	35.0	39.8%
2月	0.0	65.0	100.0%
3月	46.0	60.0	56.6%
4月	34.0	45.0	57.0%
5月	0.0	40.0	100.0%
6月	0.0	30.0	100.0%
7月	0.0	50.0	100.0%
8月	0.0	40.0	100.0%
9月	35.9	30.0	45.5%
合計	237.8	574.5	241.6%

kg

経過月数と今年度のその月の消費量を入力して下さい。			
累計	購入量	リユース量	リユース率
	237.8	574.5	241.6%

#### 事務用紙リユースの推進／目標54%以上



#### 施策

- ・リユースの観点から、余り紙の再利用、再使用を前年度対比2%アップ
- ・事務用紙以外への再利用の検討と活動。
- ・ペーパーレス化と平行して活動を行い、購入量削減を目指す。

スケジュール：2021年10月1日から2022年9月30日まで

実施担当者：斎藤 健作  
実施責任者：矢野 宏紀

印刷製本工程で発生する余白や余り紙、端紙など、通常リサイクルに回す資源を再利用する活動です。今年度は事務用紙購入量が前年度と比べて33.7%増加しました。

コロナ禍の影響で大きく減っていた購入量ですが、プリンターで再利用できるタイプのリユース紙が少なく、製本課での職場内再利用が大きく増えました。結果、241.6%リユースしたという結果が出ていますが、これは出力用紙の代替というわけではなく、製本課での業務上の再利用という意味合いが強いです。

## ⑤ ペーパーレス化推進

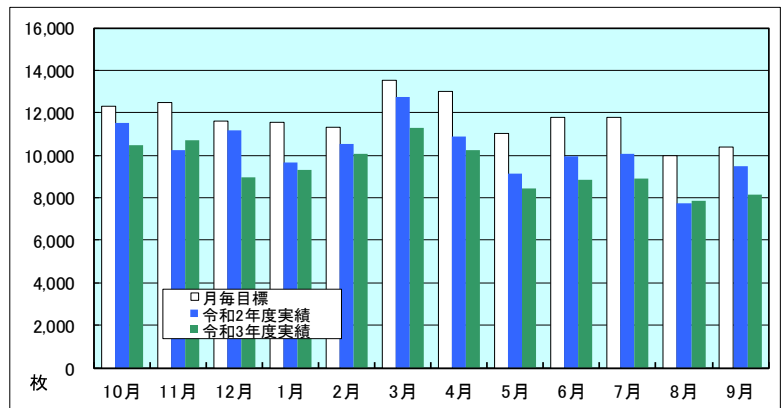
環境経営計画書 令和3年度

策定：2021年9月28日 村山 広一

	月毎目標	令和2年度実績	令和3年度実績
10月	12,300	11,531	10,465
11月	12,500	10,214	10,711
12月	11,600	11,193	8,932
1月	11,550	9,642	9,307
2月	11,300	10,521	10,075
3月	13,500	12,722	11,278
4月	13,000	10,903	10,243
5月	11,000	9,112	8,418
6月	11,800	9,956	8,828
7月	11,800	10,093	8,873
8月	10,000	7,736	7,876
9月	10,400	9,496	8,118
合計	140,750	123,119	113,124

枚

ペーパーレス化推進  
目標 事務用紙出力 140,750枚



目標累計と今年度のその月の消費量を入力して下さい。			
累計	年間目標累計	今年度累計	対目標比
	140,750	113,124	80%
単月	前年度	今年度	対前年比
	9,496	8,118	85%

実施担当者：小早川真由美

実施担当者：富永 朋子

実施責任者：佐藤清志

### 施策

- ・手順書やマニュアルだけではなく報告書・回覧文書等も電子化していく。
- ・不必要なプリントを無くすため校正の電子化を推進する。

スケジュール：2021年10月1日から2022年9月30日まで

紙媒体での業務を電子化などの方法に切り替えて、プリンター出力枚数を減らす活動です。

新型コロナウイルスの感染防止のため、電子化が進んだ昨年に引き続き、好結果となっています。

ですがこれもおそらくパンデミック時期だけの特殊な実績と思っています。

他には制作課のリモートワークが、結果的に出力枚数を減らす効果を生んでいます。



## ⑥ 化学物質削減・照明 LED 化・POD 受注推進 など

計画策定：2021年9月28日 村山広一

責任者：佐藤清志

スケジュール：2021年10月1日～2022年9月30日まで

### 化学物質使用量削減・代替（使用量5%削減）

製品名	含有PRTR制度対象物質名(含有率)	年度	年間使用量(kg)	対前年度 使用量対比	対前年度 年商対比
①インキリムーバー	1,2,4-トリメチルベンゼン(41%)	令和2年度	1.1	10%減少	4.1%減少
		令和3年度	1		
②プレートプリザーバー	ナフタレン(2.0%)	令和2年度	5	25%減少	
		令和3年度	4		

前年度に大幅な削減がありましたが、今期も化学物質使用量を減らす事が出来ました。  
 コロナ禍の影響は受注減という形でまだまだ残留しており、使用量が減ったのは単純に自然減とも言えなくもありません。ただし、印刷機のオペレーターが意識して使用量を減らそうとしていること、また生産管理の部分で効率よくして化学物質を使用しなくてよい場面を多く作れたのも事実です。

### 照明LED化・車両入替

項目	場所	交換箇所数
照明LED化	2階事務所・営業部	0
	2階集会室	0
	制作部	0
	出力課	0
	印刷課	52
	製本課	7

合計 59 箇所

### 車両入替

車両名	登録・購入日	台数

新規購入台数 無し

業績が悪化したため、購入資金を捻出するのが困難と判断。  
 新規購入を見合わせた。このままでは中長期目標を達成するのは困難です。

### POD受注拡大（受注0.1%増）

年度	年商のうちPODの占める割合
令和2年度	11.67%
令和3年度	16.03%

結果 4.36%増加

今期はPOD（プリントオンデマンド）の受注額が4.36%増加しました。  
 想定より増加率が高くなったのは、4台ある設備のうちの1台をよりスペックの高いモデルに入れ替えたことにより、オフセットではなくPODで精算することが可能になったことが要因として考えられます。  
 PODによる生産はコストがかからず、インキを使用せずまた業務終了後の洗浄も必要がないため環境負荷が少ないと言えます。

## 10. 令和3年度の実績と前年対比

### ■令和3年度・環境活動実績

※電力のCO2排出係数は0.424kg-/kWh【九電みらいエナジー(株)・平成30年度調整後排出係数】で算出

項目	単位	R3年度目標	R2年度実績	R3年度実績	対目標比	対前年比
二酸化炭素排出量の削減(総量)	kg-Co2	224,167	178,223	171,771	76.63%	96.38%
二酸化炭素排出量の削減(電力)	kg-Co2	171,508	147,033	139,733	81.47%	95.04%
購入電力	kWh	404,500	346,778	329,560	81.47%	95.03%
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	131	73	66	50.53%	90.93%
業務用自動車の燃料量(ガソリン)	L	18,430	12,919	13,329	72.32%	103.18%
業務用自動車の燃料量(軽油)	L	495	387	355	71.67%	91.67%
水資源投入量の削減						
水道使用量	m <sup>3</sup>	570	522	466	81.75%	89.27%
廃棄物排出量の削減、再使用・再利用の推進						
産業廃棄物の発生量	t	9.90	6.10	4.20	42.42%	68.85%
産業廃棄物の再使用・再利用率	t	5.00	1.13	1.21	24.20%	107.08%
産業廃棄物の再資源化率	%	5.00%	18.52%	28.81%	576.19%	64.30%
一般廃棄物の発生量	t	96.30	87.75	85.40	88.68%	97.32%
ワンプ(包装用資材)の再利用率	%	50.5%	84.0%	107.0%	211.88%	127.38%
化学物質使用量削減						
PRTR関連溶剤使用量	kg	0.01	0.01	0.01	100.00%	100.00%
グリーン購入推進						
環境配慮商品の購入					-	-
低公害車購入	台	0	0	0	0.00%	0.00%
消耗品購入の削減						
事務用紙出力枚数	枚	140,750	123,119	113,124	80.37%	91.88%
事務用紙リユース率	%	54.0%	312.0%	241.6%	447.41%	77.44%

※産業廃棄物・一般廃棄物ともに大きく減少しているのはコロナ禍で受注量が減ったため。

※事務用紙リユース率が大きく増加したのは事務用紙購入量が減少したうえに職場内再利用の機会が大幅に増えたため。

作成:令和4年11月11日  
環境管理責任者:佐藤清志

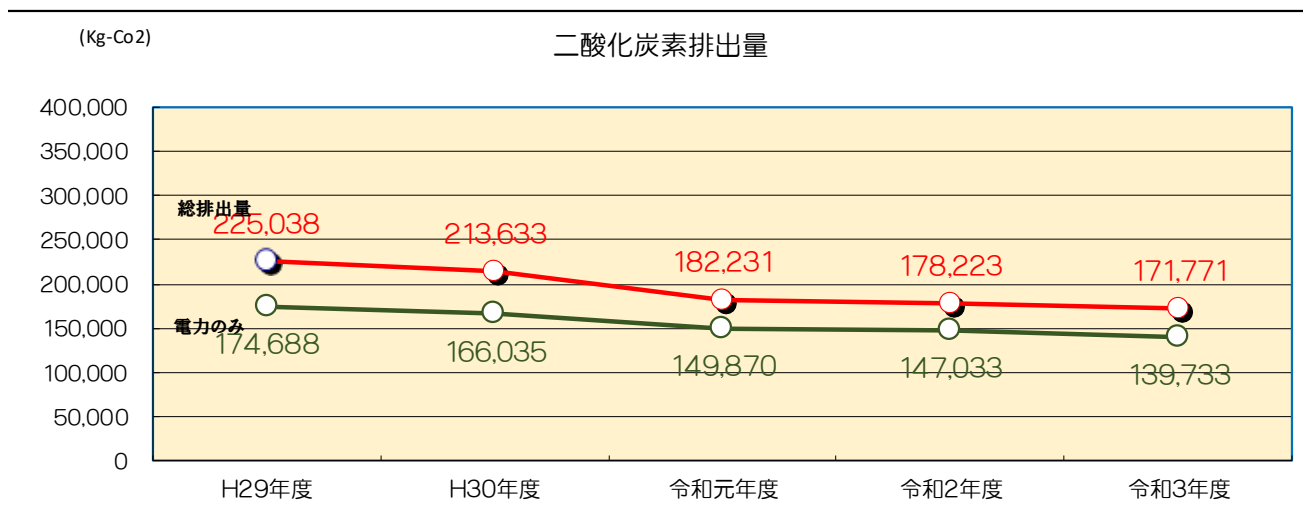
## 11. 5年間の実績推移

### ■5年間(H29～令和3年度)の活動実績推移

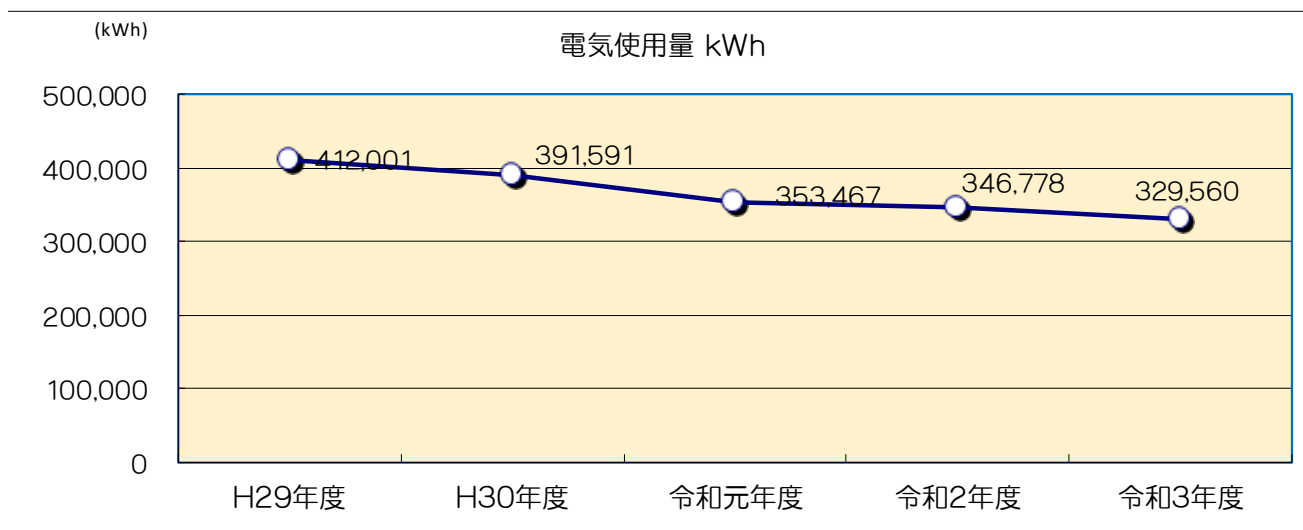
※電力のCO2排出係数は年度比較のため「0.424kg-CO2/kWh」(H30年度 九電みらいエナジー株式会社)で算出しています

項目	単位	H29年度	H30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
二酸化炭素排出量(総排出量)	Kg-CO2/kWh	225,038	213,633	182,231	178,223	171,771
二酸化炭素排出量(電力のみ)	Kg-CO2/kWh	174,688	166,035	149,870	147,033	139,733
電気使用量	kWh	412,001	391,591	353,467	346,778	329,560
水道使用量	m <sup>3</sup>	562	552	546	522	466
液化石油ガス(LPG)使用量	m <sup>3</sup>	105	108	99	73	66
ガソリン使用量	ℓ	17,261	17,261	13,386	12,919	13,329
軽油使用量	ℓ	548	564	395	387	355
廃棄物排出量(一般+産廃)	t	106.06	107.52	87.81	57.76	89.60
廃棄物再利用量(一般+産廃)	t	89.97	89.18	72.60	77.76	76.27
化学物質使用量	kg	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
事務用紙購入量	kg	336.30	358.80	358.80	177.80	113.12
廃棄物内訳	単位	H29年度	H30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産業廃棄物排出量	t	3.49	4.55	5.71	6.10	4.20
一般廃棄物排出量	t	102.57	102.97	82.10	87.76	85.40
再資源化量(産廃)	t	0.75	0.72	1.10	1.13	1.21
再資源化量(一般)	t	89.22	88.46	71.50	76.63	75.06
再資源化率(産廃)	%	21.48%	13.13%	19.26%	18.52%	28.81%
再資源化率(一般)	%	90.04%	89.80%	87.09%	87.32%	87.89%
総再利用率	%	87.72%	85.77%	82.68%	82.85%	85.12%

## (1) 二酸化炭素排出量・電気使用量

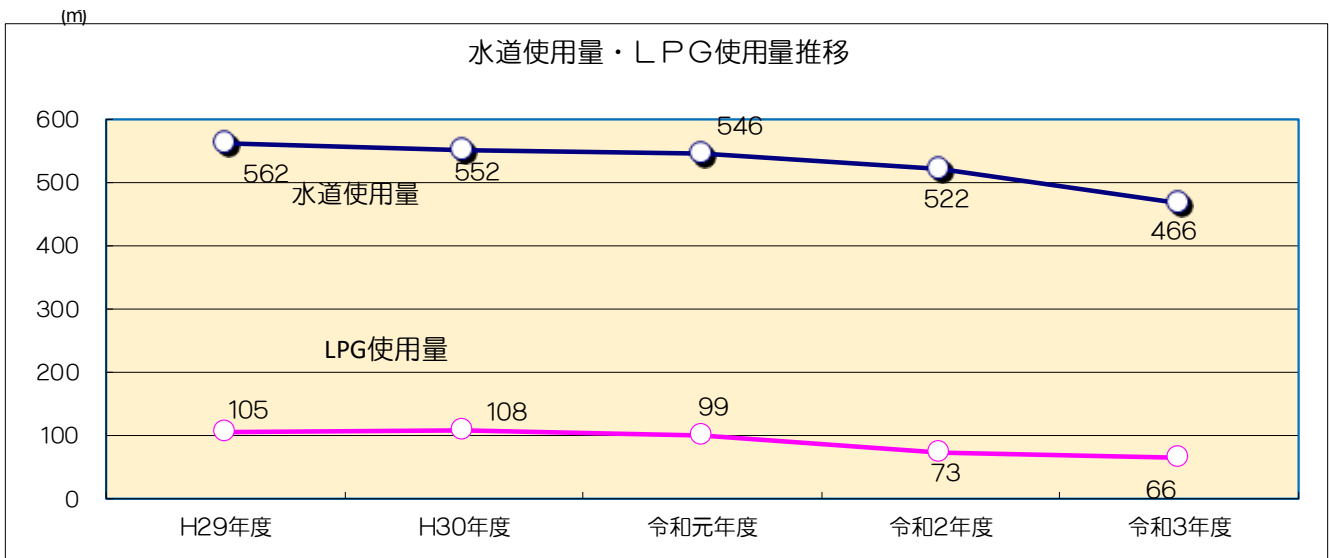


二酸化炭素排出量は「総排出量」と「電力のみ」、どちらの数値も似たようなカーブを描いています。ずっと同じ傾向で、当社は電力使用による二酸化炭素の排出が一番多いということを示しています。カーボンニュートラルに取り組むためには、電力使用に対して何をすべきか考えなくてはなりません。

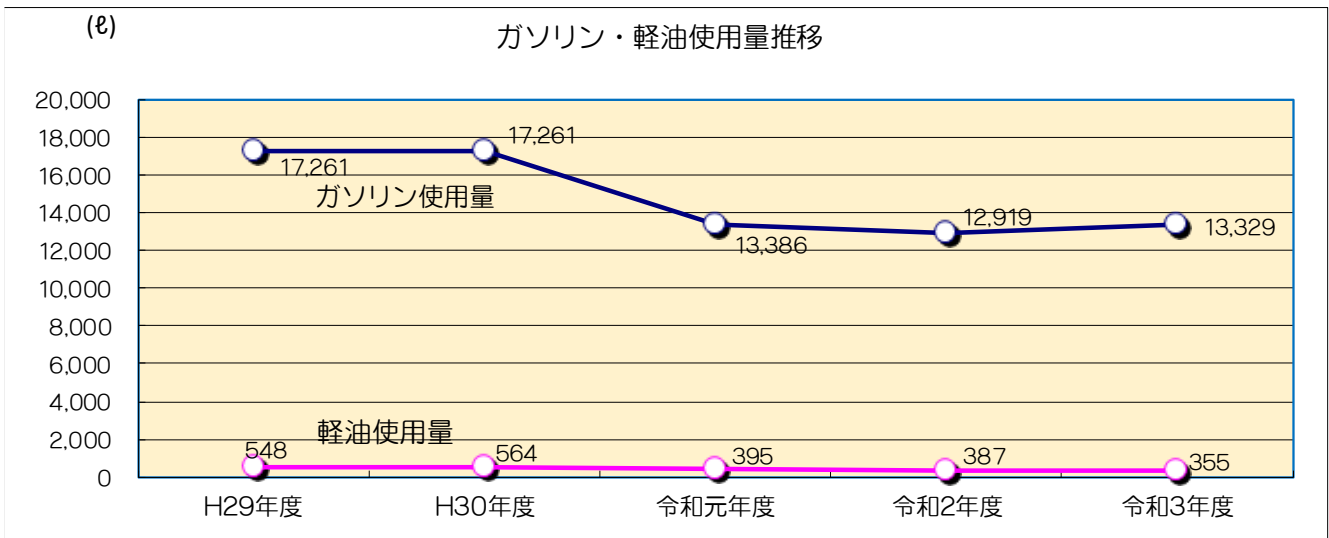


前年度に対してさらに4.97%ほど減少となりました。印刷機の稼働時間を比較すると今年度は減っていますから、他の設備も当然稼働時間は短くなっているでしょう。また、今期も高性能エアコンへの入れ替え、特にLED照明への移行を大きく推進しましたので、その結果とも言えます。

## (2)水道・LP ガス使用量・ガソリン・軽油使用量



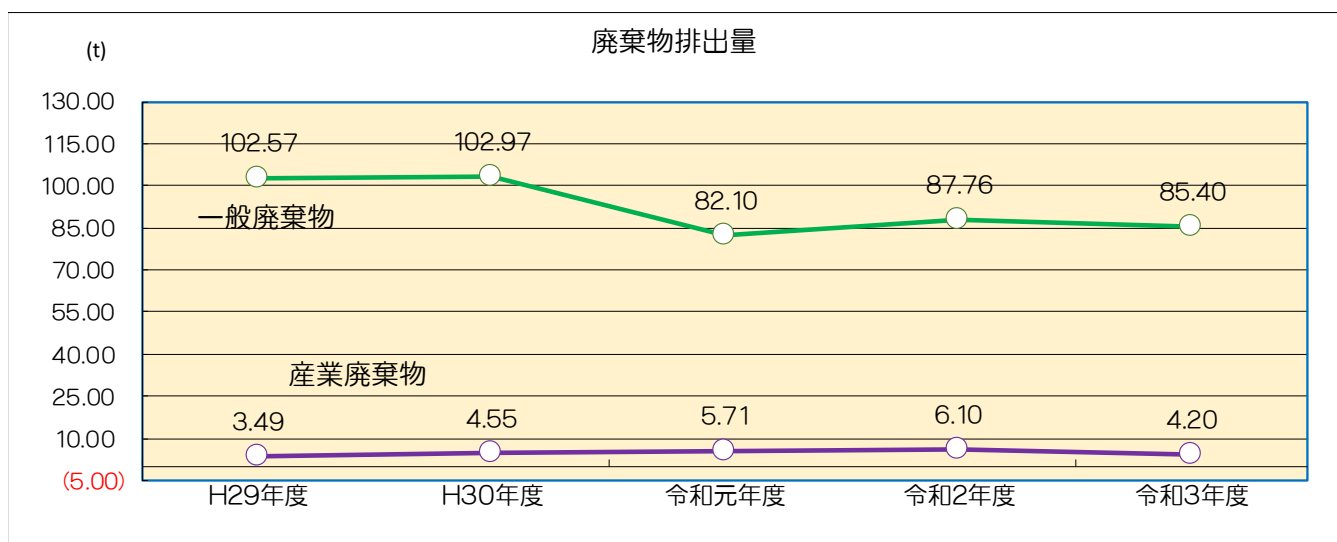
休業要請で社内での不在割合が増えたため、やはり減少傾向となっています。  
 なるべく仕事を最適化してまとめ、休業要請で休んでもらう機会が今期は増えました。  
 延長、延長の雇用調整助成金ですが、廃止となれば水道使用量は増加する、つまり大半は自然減です。



ガソリンは営業車両、軽油は大型の運搬車両で使用しています。  
 ガソリン車は営業部で使用しますが個人に割り当てられています。定年退職者が出て人員の補充がありませんから、当然ガソリン購入量は減ります。軽油の車は共用なので、大きな変動はないということです。



### (3) 廃棄物排出量



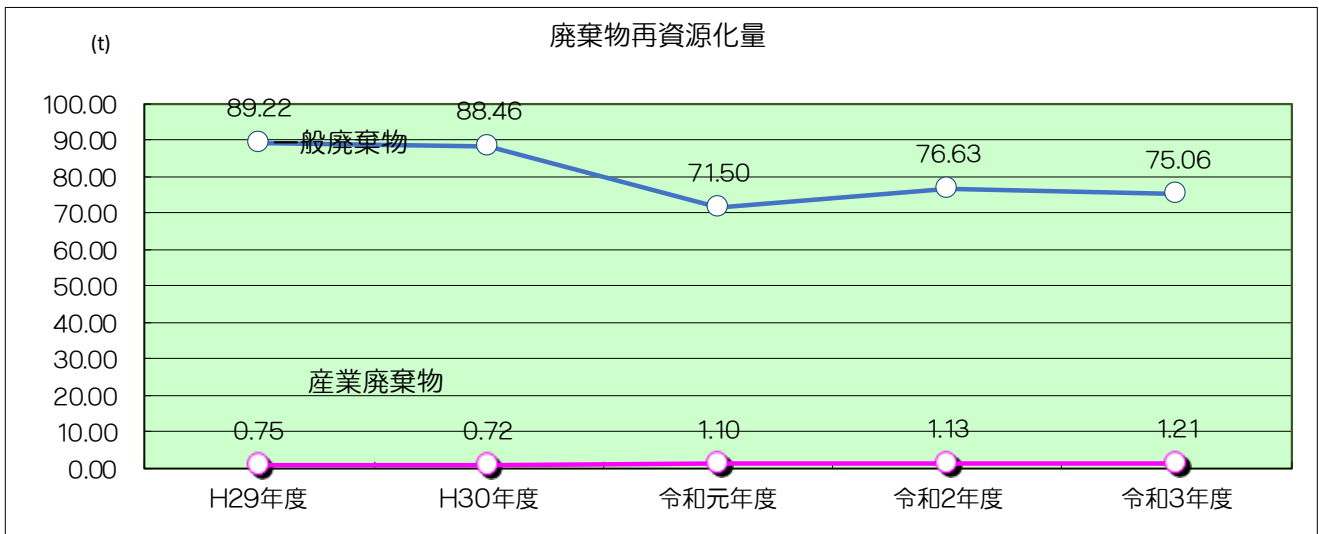
今年度は廃油・廃インキの回収が一度もありませんでした。もともと年に1回程度の排出にするような保管場所、指定保管量になっています。期末が過ぎて11月に回収がありましたから次年度は排出量が増えます。産業廃棄物排出量は仕事の受注状況に左右されますが、排出量を抑える取組を継続的に行っています。

廃棄する際は可燃物や廃プラスチックは小さく  
まとめて捨てる、インキ缶は機械で潰して体積を  
減らす、などの工夫をしています。

一般廃棄物と産業廃棄物の区分けは、  
「有価かどうか」がひとつの目安になります

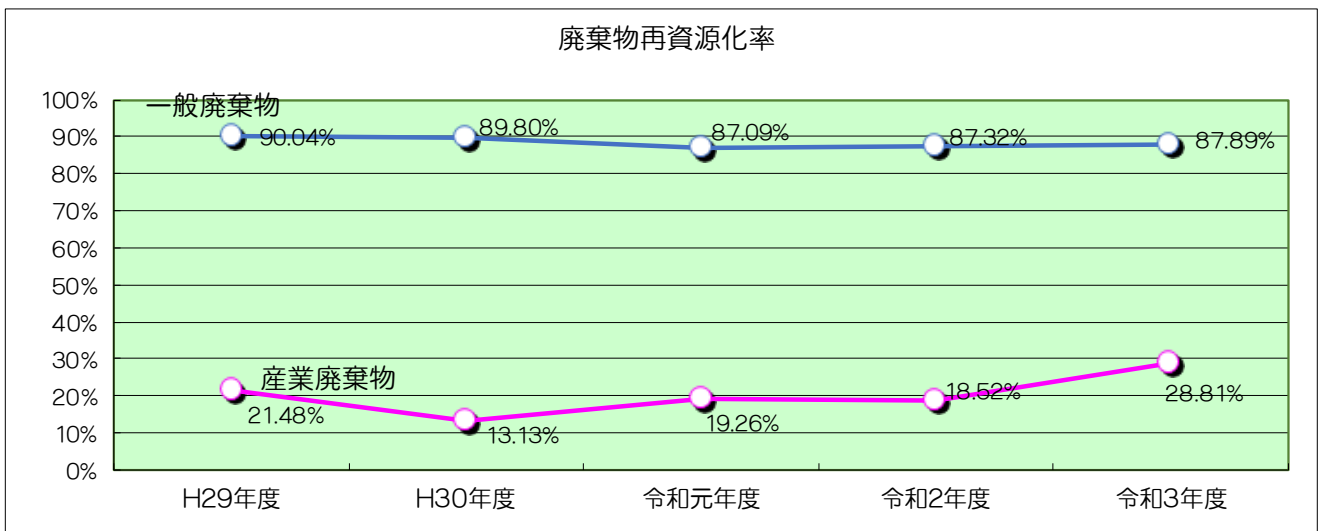


#### (4) 廃棄物再資源化量・再資源化率



一般廃棄物（可燃ごみなど）は、家庭で出るようなゴミなので、主に社員が会社に居る時間の長さに比例して増減します。社員数が減っているので排出量も減ってきています。

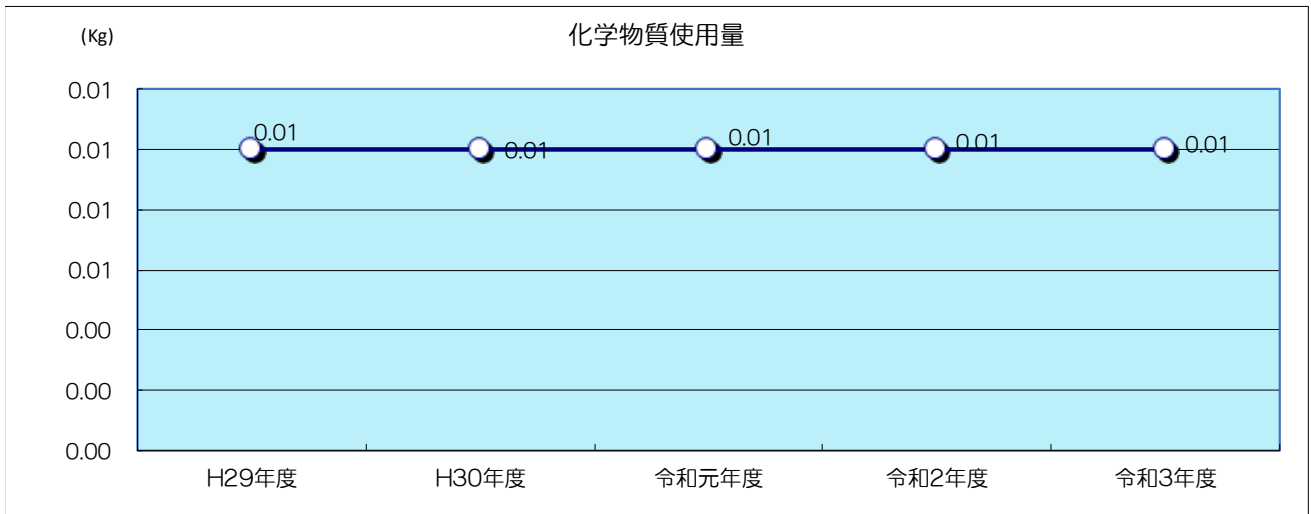
今年度の途中で、少し変わった部分がありました。今まで廃プラで出していた食品・飲料のフィルム系・弁当容器も可燃ごみとして処理してくださいと回収業者さんから指導があり、廃プラが減って可燃ごみが増えるという状況になりました。とはいえフィルム系・弁当容器は軽いので、そんなに大きな変動にはなっていません。



一般廃棄物の再資源化率は横ばいですが、産業廃棄物の再資源化率が上がっていますので、非常に良い傾向だと捉えています。いろいろな活動が、好結果に結びついているのではないかと考えています。

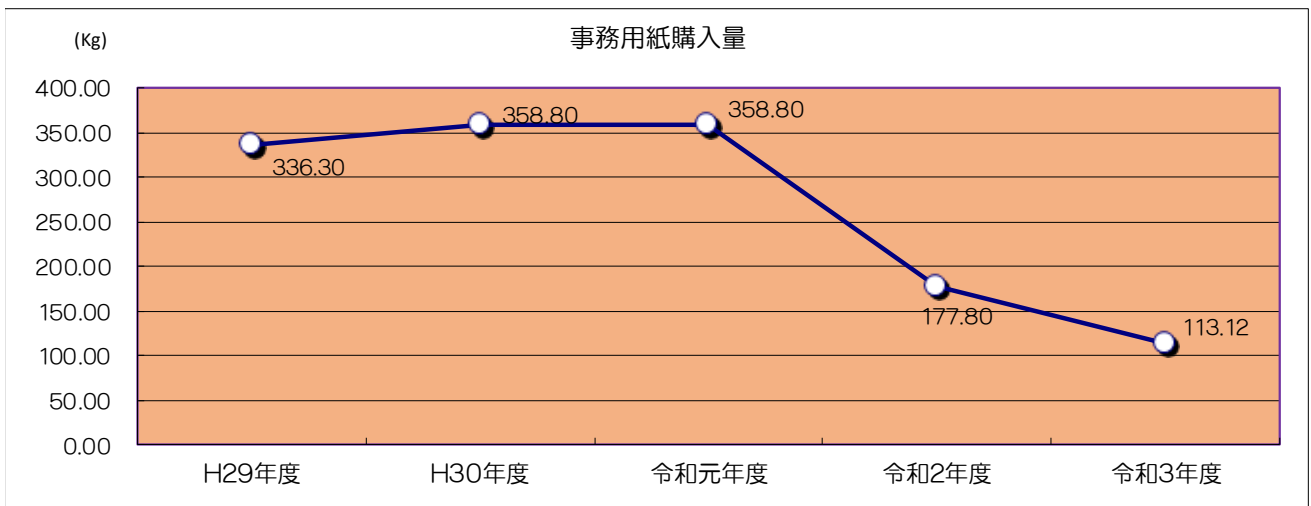
また、仕事の仕方を変える事や、新しい別な設備で精算することで廃棄物を減らせるともっと良いと思います。

### (5)化学物質使用量・事務用紙購入量



当社では平成23年度以降、使用する有機溶剤を極力PRTR非該当なものに代替するなどの取組をし、平成24年度には法令で定める第3種有機溶剤が1種、第1種指定化学物質が1種、の計2種類以外は全てPRTR非該当製品に代替しました。その2種類は全く無くすることは出来ないのですが、ワークフローを改善することにより現在はほぼ使用せず就業しており、使用量・頻度が極端に少なくなっています。

年に数回使用するため、年に1回ほど最小単位で購入していますので、これも無くすることが出来るように溶剤メーカーさんと情報交換しながら使用量ゼロを目指します。最小単位が10kgだと購入量は多くなってしまいます。



事務用紙の購入量の推移は、まるでジェットコースターや滑り台のようなカーブを描いて大幅に減っています。コロナ禍により強制的に推進されたリモートでのやりとりや、メールベースの校正など、ワークフロー自体がペーパーレスの方向にシフトして久しいと思います。そこに本などページ物の受注が減ったことも大きな要因です。

## 12. 環境関連法規の遵守状況

	法令名	法律等の条項	要求事項または遵守事項
1	<a href="#">廃棄物の処理及び清掃に関する法律</a>	第3条「事業者の責務」 第8条「帳簿の備付け等」 第11条「事業者及び地方公共団体の処理」 第12条「事業者の処理」 第12条の3「産業廃棄物管理票」 ※マニフェストの管理と報告	保管基準①産業廃物保管場所の旨の掲示60×60②産業廃棄物の種類③産業廃棄物管理責任者の氏名、連絡先。マニフェストの管理保存期間5年。廃棄物については委託契約を結び業者から許可証の写しを入手⑤毎年6月30日までに前年度のマニフェスト発行実績を県知事あてに報告する。⑥産業廃棄物の処理の状況に関する確認／特別管理産業廃棄物の処理の状況に関する確認⑦産業廃棄物の処理に於いて帳簿を備え、記載と保存の実施。⑦廃液pH12.5以上は特別管理産業廃棄物管理責任者を選任する
2	<a href="#">フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）</a>	第16条「第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項」	①第一種特定製品を対象とした点検（業務用エアコン） ・簡易点検＝3カ月に1回以上。 ・定期点検＝50kW以上は1年1回以上、7.5～50kWは3年1回以上。 ※定期点検は専門業者へ依頼 ②点検履歴は機器の廃棄まで保存
3	<a href="#">大気汚染防止法</a>	第2章の2「揮発性有機化合物の排出の規制等」	対象ばい煙発生施設の設置無し。従って有害物質排出基準以下。
4	<a href="#">水質汚濁防止法</a>	第18条「緊急時の措置」	貯油施設に関する事故時の措置（廃液貯蔵タンクの適正管理）
5	<a href="#">騒音規制法</a>	第5条「規制基準の順守義務」 第6条「特定施設の設置の届出」	規制地域（指定地域）内において工場又は事業場に特定施設を設置・変更しようとする者は、事前に市町村長に届出を行わなければならない。また、指定地域内に特定施設を設置している者は、当該特定工場等の敷地の境界線において規制基準を遵守しなければならない。 <b>※当社は指定地域ではない（都市計画の調整区域ではある）</b> <b>※当社は印刷機が特定施設に指定されているが規制対象外</b>
6	<a href="#">浄化槽法</a>	第5条「設置等の届出、勧告及び変更命令」 第8条「保守点検」／第10条「浄化槽管理者の義務」 第11条「定期検査」	3ヶ月に1回の保守点検及び年1回の清掃。年1回の法定検査（総務部管轄で適正に実施）
7	<a href="#">消防法(火災予防条例)</a>	第2章「火災の予防」 第3章「危険物」 ※危険物の管理	少量危険物貯蔵庫の設置（当社は設置無し） ガンリン200%の5分の1で届出（20リットルのため届出不要） 防火管理者・消防計画・組織等の設置と届出（届出済み）
8	<a href="#">PRTR法(化学物質排出把握管理促進法)</a>	第5条「排出量等の把握及び届出」	①事業者の常用雇用者数21人以上は該当②取り扱う原材料、資材等に政令で定める製品の要件を満たしたものがあるか③原材料、資材等に対象物質1%以上含まれているか④その対象物質(第1種指定化学物質、トルエン、キシレン、エチルベンゼン)の年間取扱量1トン以上が該当する。特定第1種指定化学物質は0.5トン以上 当社で使用する第1種指定化学物質はナフタレンと1, 2, 4トリメチルベンゼン ごく少量の使用に限るため、通常の作業マニュアル上にも工程としての記載はない。(年間使用量：ナフタレン0.5キログラム・1,2,4トリメチルベンゼンは約5キログラム)
9	<a href="#">福島県化学物質適正管理指針</a>	第3条「対象工場等」	当社で微量含有で使用している「ナフタレン」と「1,2,4トリメチルベンゼン」（ともにPRTR法にて第1種指定化学物質）について適正管理することが定められているが、年間使用量が100キログラム以下のため今のところ該当なし
10	<a href="#">労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規則）</a>	※化学物質による労働者の健康障害防止 ※環境負荷防止	有機溶剤については取扱、環境の整備対策を講じている SDSの活用
11	<a href="#">容器包装リサイクル法</a>	第4条「容器包装の使用」	容器包装の再商品化、指定法人との委託契約及び委託費の支払い

<a href="#">グリーン購入法</a>	※環境物品等の調達推進、環境物品等への需要の転換の推進	環境への負荷の低減に資する原材料又は部品を利用していること
<a href="#">特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）</a>	第6条「事業者及び消費者の責務」	製品を使用していた消費者が、家電小売店などに廃棄品の引き取りを依頼し、リサイクルに必要な料金を負担（当社保有該当家電は冷蔵庫・テレビ・洗濯機・家庭用エアコン）
<a href="#">使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）</a>	第5条「自動車の所有者の責務」	自動車製造業者にリサイクルの責任を果たすことを義務づけ、使用者にフロン類の処理にかかる費用を負担することを義務づける（総務部車両管理者がディーラーに依頼し適正に行っている）
<a href="#">大気汚染防止に基づく排水基準及び水質汚染防止法に基づく排水基準を定める条例（福島県）</a>	※大気汚染防止法に基づく排出基準及び水質汚染防止法に基づく排水基準の遵守	有害物質排出基準以下（生活排水、製本工程のボンド類希釈洗浄水）
<a href="#">福島県生活環境の保全に関する条例</a>	※水環境の保全に関する規則、都市型及び生活型公害（悪臭及び騒音）の抑制。条例の基準に沿った管理	有害物質排出基準値以下、騒音規制基準値以下排出を抑制するための必要な措置の実施 排出水の測定結果の保存義務と保存義務違反に対する罰則 汚水に関する事故時の措置と対象に関して応急措置と届出を義務化
<a href="#">福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例</a>	第6条2「産業廃棄物指定処理責任者等」 第8条「帳簿の備え付け等」	①その事業活動に伴い産業廃棄物を生ずる事業場を設置している事業者は、当該事業場ごとに、当該事業場に係る産業廃棄物の処理に関する業務を適切に行わせるため、産業廃棄物管理責任者を置かなければならない。 ②産業廃棄物を生ずる事業場を設置している事業者は、当該事業場ごとに帳簿を備え、当該産業廃棄物の処理について規定で定める事項を記載しなければならない。
<a href="#">福島市公害防止対策条例</a>	第8条「指定施設の届け出等」	指定施設（出力3.75kw以上の空気圧縮機）を保有する事業者は市へ届け出をしなければならない

- 大気汚染物質、水質汚濁物質、騒音、振動など、環境関連法規に違反はありませんでした
- 関係当局より、違反などの指摘はありませんでした
- 訴訟及び近隣からの苦情はありませんでした



### 13. EA21 システムの見直し

#### 令和3年度 エコアクション21 システム見直し書

陽光社印刷株式会社 代表取締役

村山 広一

見直し日	2022年10月31日	
見直しのための インプット情報	①環境経営目標の達成状況	「令和3年度 環境経営目標及び環境経営計画書」
	②環境経営計画の実施状況及び運用結果	「令和3年度 環境経営計画書」
	③環境関連法規等の遵守状況	「環境法令遵守チェックリスト2022_10_xls」
	④外部からの環境に関する苦情や要望等	令和3年度「苦情受付簿」・「環境情報報告書」
	⑤取組の自己チェック	「令和3年度 環境への取組の自己チェックリスト」
	⑥前回の指示内容	「令和2年度 エコアクション21 システム見直し書」
代表者による評価	環境経営システムが有効に機能しているか	( 良い 5 4 3 2 1 悪い )
	環境への取組が適切に実施されているか	( 良い 5 4 3 2 1 悪い )
代表者による 見直しの必要性	環境経営方針の見直し	( 必要 ・ 不要 )
	環境経営目標の見直し	( 必要 ・ 不要 )
	環境経営計画の見直し	( 必要 ・ 不要 )
	EA21実施体制の見直し	( 必要 ・ 不要 )
代表者による 見直しの指示	<p>経営方針の見直しについては、いまのところ現在の経営方針に追加・修正するべきものが無いので変更の必要はない。</p> <p>環境経営目標について、営業車燃費の取組については段階的にハイブリッド車両などのエコカーを導入する施策があったが、他に優先度の高い支出（壊れたエアコン・冷媒が無くなるエアコン・LED照明）があったため購入には至っていない。</p> <p>電気料金が上がっている。2022年9月末の時点で、前年度より使用量が下がっているのに料金は上がっている。現在の値上がり幅は約23.56%だが、11月からまた上がる試算が出ている。電気料金の支払額を減らすためにも節電に対して、より意識的に取り組むように指示した。</p> <p>環境経営計画については、年度目標あるいは中長期計画の数字に対して非常に好結果の数字となっている。この要因はいつ迄も続くコロナ禍の影響で、大幅に受注額が減っている事が直接的な要因と考えている。また、POD生産（オフセット印刷機ではなくプリントオンデマンドシステム）のトータル売上額に対する割合が今期目標0.1%以上増加に対して4%以上、大幅に増加した。</p> <p>PODはインキを使わず化学薬品もほとんど使用しないため、コスト減となり計画の結果をより向上させたと考える。営業部にはさらなるPOD受注推進の指示を出した。</p> <p>実施体制の再編は、今期も役職以外の従業員にも担当を振り分けた。全員参加の意識付けのため・活動の多様性のためだが、各役職は取組の状況をみて助言など行うように指示する。（前年同様）</p>	

## 14. 次年度の環境経営目標と計画(令和4年度)



### 環境経営目標

令和4年度(2022年10月1日～2023年9月30日)

陽光社印刷株式会社は、エコアクション21の環境経営方針に定めた環境保全への取組を実現するため環境マネジメントプログラムに以下の項目と目標を掲げて活動していきます。

#### ○ 取組項目

#### ○ 目標と活動



#### ①省エネルギー・環境保全

- 電力使用量削減(年間400,250kWh以内)
- 二酸化炭素排出量削減(169,706kg-Co2以内)  
※九電みらいエナジー(株)H30年度調整後排出係数0.424kg-Co2
- 水道使用量削減(年間566㎡以内)
- ガソリン使用量削減に向けた燃費向上(年間平均15.7km/l以上)

#### ②省資源・資源再利用

- 廃棄物分別の徹底と排出量削減(年間9.8t以内)
- 廃棄物再資源化率の向上(事務用紙リユース率56%以上)
- 社内文書の電子化・ペーパーレス化推進  
(事務用紙使用枚数140,650枚以内)
- 化学物質使用量の削減及び、より低リスク製品への代替  
(使用量5%削減)

#### ③エコ資材・設備への移行

- 社内照明LED化、ハイブリッド車両の順次導入など(随時)

#### ④自社製品の環境配慮

- オンデマンド製品の提供拡大(前年度対0.1%増加)

作成日:2022年9月30日

策定者:村山 広一

### 環境経営計画

スケジュール:2022年10月1日～2023年9月30日までの取組

#### ○ 電力使用量の削減

こまめな電源オフ・エコ意識の啓蒙など(年間400,250kWh以内)

#### ○ 水道使用量の削減

節水意識の啓蒙・清掃時の節水など(年間566㎡以内)

#### ○ 営業車燃費向上

エコ運転の推進など(年間平均15.7km/l以上)

#### ○ 事務用紙リユースの推進

余白紙の再利用推進など(事務用紙リユース率56%以上)

#### ○ ペーパーレス化推進

文書の電子化推進など(事務用紙使用枚数140,650枚以内)

#### ○ 化学物質使用量削減・代替

新しい品目の発掘・代替が行われたか?(前年度対比較による評価)

#### ○ 照明LED化・車両入替

照明のLED化の進捗と車両入替の有無(前年度対比較による評価)

#### ○ POD受注拡大

POD製品受注件数の推移(前年度対比較による評価)

作成日:2022年9月30日

策定者:村山 広一







令和3年度【令和3年10月1日～令和4年9月30日】

環境経営レポート

陽光社印刷株式会社